

43 生体肝移植ドナーに及ぼす高圧酸素の効果

末廣剛敏¹⁾ 志村龍男¹⁾ 新木健一郎¹⁾ 出津明仁¹⁾
 浅川香織¹⁾ 岡田幸士¹⁾ 鈴木秀樹¹⁾ 桑野博行¹⁾
 斉藤 繁²⁾ 後藤文夫²⁾

(1)群馬大学大学院病態総合外科
 (2) 同 麻醉科

【目的】生体肝移植においてはドナーリスクの軽減はもちろんのこと、ドナーのQOLについても十分に考えなければならぬ。今回、生体肝移植ドナーに及ぼす高圧酸素の効果について評価した。

【方法】当科における生体肝移植症例36例中、拡大左葉グラフトドナー15例を対象とした。高圧酸素療法の有無にて分けドナーの背景因子、術後肝機能および術後経過について検討した。

【結果】高圧酸素群8例、対照群7例で高圧酸素は術後3日目より開始した。平均年齢は高圧酸素群36.1歳、対照群36.3歳、摘出肝重量は高圧酸素群478g、対照群479gであった。術後肝機能では対照群に比べ高圧酸素群でAST、総ビリルビン、プロトロンビン時間、アルブミンが14日目で有意に改善していた。また、総胆汁酸は有意ではないが高圧酸素開始後にすみやかに低下した。肝再生は術後4週めで高圧酸素群が対照群に比し有意に良好であった。また、高圧酸素群には創感染、腹腔内感染はみられず(対照群、創感染2例、腹腔内感染1例)、術後の経口状況の改善も良好であった。また、斜切開に特徴的な創部知覚異常の改善も高圧酸素群にて早かった。

【総括】高圧酸素は感染防止、麻痺性イレウス改善等の効果は知られていたが、さらに肝再生促進および肝機能改善促進効果があり、生体肝移植ドナーの術後回復を促進するものと考えられた。また、創部の知覚異常改善も早くなり、QOL向上に寄与すると考えられた。

【総括】高圧酸素は感染防止、麻痺性イレウス改善等の効果は知られていたが、さらに肝再生促進および肝機能改善促進効果があり、生体肝移植ドナーの術後回復を促進するものと考えられた。また、創部の知覚異常改善も早くなり、QOL向上に寄与すると考えられた。